

令和6年度 第2回みんなで支える森林づくり諏訪地域会議 議事録

開催日時：令和7年2月19日（水） 14時から15時15分まで

開催場所：諏訪合同庁舎502号会議室

出席者：【構成員】（五十音順、敬称略）

片倉 正行、中村 くすみ、藤森 良隆（座長）、松下 妙子、宮坂 佐知子

【事務局】

（諏訪地域振興局）

小島 奈美子 林務課長、青木 竜一郎 治山林道係長

山崎 昭典 林務係長、久保田 淳 普及林産係長

要 旨：

■会議事項（1）令和6年度森林づくり県民税活用事業の実施状況について

（事務局）

資料1により説明（説明者：山崎）

（松下構成員）

今年度、「自然保育活動フィールド等整備事業」を活用し、森林整備を実施した。針葉樹の伐採をしていると、周囲の広葉樹も元気になり、そこに生息する生物や環境も変化する。日々それを感じながら子供たちと接している。森林は1回整備したから良いというわけではなく、毎年毎年手を入れていく必要があると実感した。

長野県は森で子供たちが育つ事の重要性を考え「やまほいく」認定制度を作っており、そこに森林税が使われるという事はとても意義があると考えている。

子供たちが森林で過ごすことにより、森林を日常的に受け止めて育っていくことが子供たちの生きる力になってくる。

■会議事項（2）令和7年度森林づくり県民税活用事業計画（案）について

（事務局）

資料2により説明（説明者：山崎）

（藤森構成員（座長））

諏訪森林組合においても緑の雇用などを活用し人材を確保しているが、近年採用している職員は定着率が良くなってきている感じを受ける。

（松下構成員）

林業人材とは具体的にはどんな人を言うのか。

（久保田普及林産係長）

・伐採（主伐）⇒地拵え⇒植栽⇒保育（下刈り、除伐、間伐）⇒伐採（主伐）

・伐採⇒枝払い⇒玉切⇒集積⇒搬出（運搬）

これらの作業を担う人材が林業人材と考えており、かなり幅広である。

（松下成員）

林業に従事する人が少なくなっている中で、どんな人が林業に興味を持つんだろうと考えると、例

えば薪ストーブの所有者が薪割から興味を持ったり、森林体験に高校生や大学生が来てくれたりとか、そういった体験を通して林業に興味をもってもらうため、そこに森林税を活用できないか。

（久保田普及林産係長）

第3期目の森林税では地域の皆さんが集まって薪づくりした場合に補助金を支出しており、熱心に活動してくれた地域もあり、良い仕組みも作れた実績もあるが、第4期目ではメニューからは外れている。

（片倉構成員）

主伐再造林へシフトしている中で、主伐後の植栽や保育が一番大変である。40年ほど前は人材がたくさんいたので対応できたが、今は人材が減っている中で主伐をどんどん進め植えて育てるための人材は足りているのか現状はどうか。

（久保田普及林産係長）

県内の主伐面積は目標を大きく超えている。佐久、上小、南信州が特に盛んで、植栽や下刈りなどの手間が大きく増えてくることは想定している。ここ最近では、季節によって別管内へ下刈りの手伝いに行くなど労働者の流動性が生まれてきており、何とか足りない分を補おうという動きがある。

諏訪管内の主伐再造林は生産森林組合有林が主であるが、組合員自らが植えて下刈りをしており、伐採する人とは別の人材が植栽保育を行っているので、まだ労働力はある方だと考えているが、労働力に見合う主伐面積を計画している。また、ある林業事業体の試みとして、観光施設で働いている若者や別荘に定住しており時間に余裕のある方を対象に、植栽専門のサポーターとしての仕組みづくりを行っており、安全教育を行ったうえでこれから実際に植栽作業の取組を行っていく予定。

（片倉構成員）

生産森林組合の構成員も高齢化が進んでいると考えられ、諏訪管内は傾斜がきつく機械化が困難である森林も多いので人材育成はとても重要。

（藤森構成員（座長））

個人的な経験も踏まえた意見だが、地元の生産森林組合でいろんな作業をしていたが、あくまでアマチュアとして作業していたので非常に楽しかった。ただ、それを生業として始めると、天候などはあまり関係なく作業をしなくてはならず、非常に大変だと分かった。

（松下構成員）

10人に林業を説明して10人の方に興味を持ってもらうのは困難だと思うが、普通であれば林業に一生出会わない人達の中にももしかしたら興味のある方もいるかもしれないと考えて、10人中1人くらいが林業に興味を持ってもらうための入り口を考える必要がある。

（中村構成員）

諏訪には御柱祭があり、時期になると地域で伐採などを実施しているが、単木的に広葉樹などを植栽したときに、苗木代などが補助の対象となるような事業はあるのか。

（久保田普及林産係長）

緑の基金事業や、各市町村の苗木の頒布会や、ドングリを拾って自分たちで苗木を作るという方法もある。

（藤森構成員（座長））

それぞれの立場から貴重なご意見をいただき有意義な会議であった。来年度以降もより効果的な事業の実施についてお願いします。